

近藤忍後援会 2025 年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



後援会の皆様には近藤忍へのご支援を賜り感謝申し上げます。初当選から19年が経過し5期目の最後の年になりました。来春は市議選の年ですが、その前に今月末には木更津市長選挙が行われます。2回続けて無投票でしたが今回は立候補を表明する者があり12年ぶりに選挙戦となります。近藤忍は木更津市の発展のため現職の**渡辺芳邦市長**を支援してまいります。後援会の皆様もご協力をお願いいたします。今後も引き続き皆様のご指導を賜りたくよろしくお願いいたします。

2026年3月 後援会長 江野澤政広

1. 定例議会における活動報告

昨年中は全ての定例議会で一般質問を行いましたのでその概要を報告いたします。3月定例議会では予算審査特別委員会に選出されながらも質問をしました。内容の詳細は木更津市のホームページに記載されております。

3月定例議会：「飛行場周辺まちづくりについて」

構想を進めている吾妻の文化芸術施設、久津間の津波避難施設、みなと口の再整備、地方公設卸売市場の移転などについて質問しました。吾妻では県の管理する周辺の公園との連絡路の整備を検討協議するように要求し、津波避難施設に関する盛土工事は、桜井の道路工事で発生する土を活用し安価に施工することを提案するなど、具体的に事業を進めるうえでの改善点を技術系議員として取り上げました。

6月定例議会：「自衛隊・障がい者福祉について」

オスプレイの暫定配備完了に伴い、周辺住民と市が防衛省と協議する場の存続、飛行場の民間活用などを確認しました。民間活用では具体的な答弁はありませんでしたが、今回の選挙で渡辺市長が公約として提言しておりますので来年度には具体的な動きが見えてくると思います。

障がい者福祉についての必要性は認めておりますが、近年急激に増加している事業費の原因と市の方針や対策について確認しました。福祉だからと思考停止をせずに予算の執行について注視することも議員の重要な責務です。



佐賀へ移駐するオスプレイを見送る自衛隊員

9月定例議会：「建設行政について」

県道として整備中の浮戸川橋梁周辺の設計内容、金田西地区の道路が暫定施工であるため橋梁に変更するときの課題、狭小歩道や交差点の課題など、数多い問題点を指摘しました。特に千束台と請西東の間の未開通部分を県道として千葉県に整備を依頼したとしても工事費を削減して早い完成を目指し、ダンプカーの台数を減らして環境負荷を減らすように市からも提案をすべきであると技術的な裏付けを持ち提案しました。

12月定例議会：「環境行政・観光行政について」

環境行政では地球温暖化防止に向けた脱炭素への取組状況を確認しました。柏市が自治体発電所の取組を開始したように、木更津市でもエネルギーと資金の循環を行うべきだと進言しました。また、近隣市におけるゴミの分別項目の統一も提案しました。

観光行政では集客数県下3位の木更津市でも大多数がアクアラインの休憩施設や道の駅利用者です。第一次産業や自然環境などを活用して市内に誘導して活性化を図り移住転入につなげていくことを提案しました。



2019年に視察した真庭市のバイオマス発電所

※ 議会質問の全文は近藤忍のHP [<http://sinobu.com/situmon/sindex.html>] と
木更津市議会のHP [<http://www.city.kisarazu.chiba.dbsr.jp/index.php/>] で読むことができます。
またインターネット配信 [<http://www.kisarazu-city.stream.jfit.co.jp/>] では動画を見ることが可能です。

2. 委員会や議会内における活動報告

委員長を務める**議会運営委員会**では各定例会の運営を調整し、1月には議会改革特別委員会と合同で加西市と和泉市に視察へ出かけ先進的な取組を木更津市議会にも導入しました。

総務常任委員会では吾妻文化芸術施設等の審査を担い、10月に函館市と盛岡市を視察しました。**交通政策特別委員会**では7月に袖ヶ浦市で「チョイソコがうら」を視察し、10月に富山市と前橋市の群馬大学でコミュニティバスや無人運転バスを調査しました。**市庁舎整備特別委員会**で議論を続けた朝日庁舎は完成しましたが、駅前新庁舎の完成は予定より1年遅れの令和11年春へと延期になりました。

会派羅針盤では5月に熊本更津市の学校部活動の取組、大津町の企業誘致の取組、大川市の子育て支援総合施設を視察し、9月には会派として市長に9項目の要望書を提出し意見交換を行いました。木更津市議会から選出されている**かずさ水道広域連合企業団議会**と**都市計画審議会**では建設系技師としての専門的知見を活かした活動をしております。**災害支援ボランティア議員連盟千葉支部**では1月に鋸南町で災害ボランティア活動の研修を行い、5月に浦安市で総会を開催して東日本大震災後の液状化対策事業を学び、11月に本部組織が企画した2泊3日の能登半島地震研修会（表面写真）で得た経験を木更津市に反映するため今年の3月議会で質問しました。



袖ヶ浦市の運営するデマンド交通のチョイソコがうら

3. 2026年に予定されている主要な変化や課題

1. 選挙に関する事案

・3月22日に告示される木更津市長選挙及び市議補選では複数の候補が立候補する見込みです。

同封のmanifestoで「次の木更津へ。」というスローガンを掲げ、市政を牽引する**渡辺市長**を支援します。

2. 都市の主要な変化

- ・富士見通りで電線の地中化がほぼ完了し11月のアクアラインマラソンまでに舗装も完成します。
- ・中野畑沢線の桜井工区から土の搬出が続き、中野工区では盛土と橋梁の工事が進みます。
- ・朝日庁舎が移動したイオンタウン朝日は3月末で一旦閉鎖され商業棟として改修工事が始まります。
- ・木更津飛行場を民間のプライベートジェットの駐機場として利用するための議論が始まります。

3. 公共施設に関する事案

- ・吾妻の文化芸術施設（市民会館・図書館等の複合施設）の設計が終わり年内には工事が始まります。
- ・潮浜のいきいき館の裏に弓道場が新設され、その後に吾妻公園内にある弓道場が廃止されます。
- ・木更津駅西側の旧立体駐車場の解体工事が終わり駅前新庁舎の工事が開始されます。
- ・富津市新富では6市1町による上総安房クリーンシステムの令和9年度供用開始に向け整備が加速します。

4. その他の諸課題

昨年7月にはカムチャツカ半島でM8.8の地震が発生し、12月には青森県東方沖地震が大規模地震の前震だと警戒されました。遠くない将来に海溝型の大規模地震が発生することや富士山の噴火が起きることを前提とした備えを進めることが求められてきます。地球温暖化に起因した高潮や風水害などの自然災害も対策が必要です。木更津市の活力を維持するために人口政策や産業政策を続けながら老朽化したインフラの更新や四市水道料金統一に向けた議論も始まります。子育て支援及び高齢者支援、外国人政策など市議会に求められる課題も増えておりますので『議会という塊』として絶え間なく研鑽を積むよう主導してまいります。

4. 後援会の案内と入会のお誘い

近藤忍の議員活動を励ますため、後援会活動を強化したいと考えております。近隣や知人の方で近藤忍後援会への入会を希望される方は、氏名、住所、電話番号などをお知らせ下さい。ご連絡は後援会事務所を訪問いただくか、郵送・電話・FAX・メールなどにてお願いします。

